

認定看護師の活動について

看護部 看護三担当課長 **石田 美由紀**

今回は認定看護師の活動のうち、CN 看護実践サポート委員会における活動について紹介させていただきます。

市立札幌病院には現在、14 分野 21 名の認定看護師が良質な看護の提供を目指し、特定分野の専門的な知識・技術をもとに組織横断的な活動を行っています。

認定看護師は、各専門分野の活動に加え、CN 看護実践サポート委員会による活動を行っています。委員会の目的は、「各分野のエキスパートとして専門的な知識・技術を提供することで、病院全体・地域の看護の質向上に貢献する活動を行う」です。

委員会では、平成 27 年度より「専門的な知識・技術習得のための教育的環境整備」の一つとして、院内の看護職員に対し、当院看護部が認定する院内認定看護師教育を開始しました。平成 27 年度は【急変看護】、平成 28 年度より【がん看護】を開講しています。さらに地域の看護職員に向けては、学習環境を提供するために年 4 回セミナーの実施や指導・相談を行っています。より多くの方々に活用していただけるよう、今年度は土曜日にセミナーを企画しています。今後も院内外の看護の質向上に貢献できるよう取り組んでまいります。セミナーの参加、ケアへの相談などお気軽にご連絡ください。



CN 看護実践サポート委員会



院内認定看護師教育

平成 28 年度 CN セミナー 日程	
8月27日(土)	基本から学ぶ糖尿病患者のフットケア
10月8日(土)	褥瘡ケアの実際
12月2日(金)	周術期看護の基本を学ぶ

* セミナーの申し込みは、ホームページをご参照ください

コメディカル部門紹介「臨床工学科」

臨床工学担当課長 **中村 厚志**

臨床工学技士 (Clinical Engineer:CE) は、1987 年 5 月に制定された「臨床工学技士法」に基づく医学と工学の両面を兼ね備えた国家資格で、医師の指示の下に様々な業務を行っています。

手術室関連では、人工心肺をはじめ自己血回収、内視鏡、手術支援ロボット、誘発電位測定などの準備・操作の業務に対応、救命救急センター関連では、救命率向上のためにオリジナルな経皮的心肺補助 (PCPS)・体外式膜型人工肺 (ECMO) システムの考案・導入、急性血液浄化などでの緊急性の高い依頼には 24 時間対応しています。その他、高気圧酸素治療、心臓カテーテル・ペースメーカー関連、慢性維持透析、アフエレーシス治療など日々の臨床業務に取り組んでいます。

院内で使用される種々の医療機器の操作・保守点検を行い、安全で質の高い医療の提供に努め、また、医療機器安全管

理体制を確保するために各部署所有機器についても保守計画管理も行っています。また、安全に医療機器が使用されるように医師や看護師等に研修会を開き、安全使用の知識・技術の向上にも努めています。

当院では、現在 11 名の臨床工学技士が医療機器のスペシャリストとしてチーム医療に貢献しています。それぞれ体外循環技術認定士、呼吸療法認定士、透析技術認定士等の認定資格を有し、さらに各医療機器メーカー認定の保守資格も取得し、臨床と保守の両面で業務を遂行しています。

今後も医療技術や医療機器が進歩してくるにより、臨床工学技士が医療の安全に資することが重要視され、さらに多くの、多彩な業務への対応が求められてきます。これからも、医療現場での責務をはたしつつ、地域医療に貢献していきたいと思っています。